

金属熱処理のスペシャリストの育成と次世代リーダーとなるグローバル人材の育成を両輪で推進 ・・・(株) 東研サーモテック

金属熱処理専門企業の(株)東研サーモテックは、主要取引先である自動車業界の海外展開に呼応する形でいち早く海外生産体制を整え、現在は国内12工場に加えてタイ、マレーシア、中国、メキシコにも生産工場を構えるグローバル企業である。同社が得意とする自動車のエンジン部品への熱処理加工には、高い強度と精密精度を求められ、その高い要求に応えられる海外企業は少なく、同社のグローバル展開が日本の自動車産業の海外展開に貢献してきた側面もある。ダイヤモンド・ライク・カーボン(DLC)をはじめとする表面改質技術の薄膜形成処理であるドライコーティングも同社の主力事業で、金属熱処理のノウハウとコーティング技術の合わせ技で極めて高い強度、機能を実現し、多様な顧客の要望にスピーディに応える技術開発力も有している。

同社の技術や品質を支えているのは、長年にわたって地道に育成・確保してきた「人財」である。正社員約700人のうち、約8割が金属熱処理技能士や金属材料試験技能士という国家資格を取得しており、そのうち2割以上が最上位の資格である特級技能士を有しており、金属熱処理業界において突出した資格取得者数と質を誇っている。加えて、同社の特徴は製造現場のみならず管理部門の社員も技能士の資格を取得している点にある。営業から企画・設計、製造、アフターサービスまでの全ての工程を金属熱処理のプロフェッショナル集団が支える体制が構築されている。

また、2010年12月にはタイに熱処理技術者を育成するためのトレーニングセンターを開設した。同社のタイ工場働く社員を対象に、「安全」、「金属熱処理」、「語学(英語と日本語)」、「コンピュータスキル」、「新入社員教育」、「日本への1年間の研修派遣」という6つの研修プログラムを提供し、熱処理や語学に関するテストや、昇進昇格に必要なテストも実施している。日本への研修派遣が決まったタイ人の従業員に対して、事前に日本の風習文化を学んでもらう場にもなっている。2021年に(公社)国際経済労働研究所(IEWRI)のタイ現地機関が実施したワークモチベーション調査では、同社のタイ工場は「働きがい」や「勤労意欲」において高い評価がなされており、このような高いモチベーションを支える要因の1つがこのトレーニングセンターにおける研修への理解と満足度にあるとの調査結果が得られている。また、熱処理技術のレベル2からレベル3の試験については、2010年からタイ国立のスラナーリー工科大学と共同で試験を作って実施するようになり、2018年にタイの熱処理協会認定の公的資格に格上げされた。さらに上位のレベル4からレベル5についても、引き続き社内テストとして実施しており、タイでも金属熱処理のスペシャリストの養成に取り組んでいる。

一方で、日本国内においては工業高校の学生、特に材料科や機械科を目指す学生が減少する等、将来の担い手不足が深刻化している。また、タイ現地法人が長年にわたり人材投資に力を入れてきたことから、海外現地法人の力量が高まるにつれ、指導者にふさわしいレベルの人員数が不足してきた。そのため、今後はより高いレベルの日本人社員を育成し、海外現地法人に送り込む必要が出てきた。

このような事情を考慮し、4年前に「グローバル人材育成プログラム」を立ち上げた。これまでコツコツと続けてきた全社員の底上げを目的としたボトムアップ教育ではなく、リーダーシップが執れる人材を選抜して、10年後・20年後の東研サーモテックを託せる次世代のリーダーに育てることを目標としたプログラムである。グローバル人材育成プログラムは選抜教育とはいえ公募による立候補制で、マネジメントや実務経験、知識を幅広く身につけていく。また、これまでは必要に応じて海外へ社員を派遣してきたが、このプログラムでは明確に研修という位置づけで3か月海外へ派遣する。

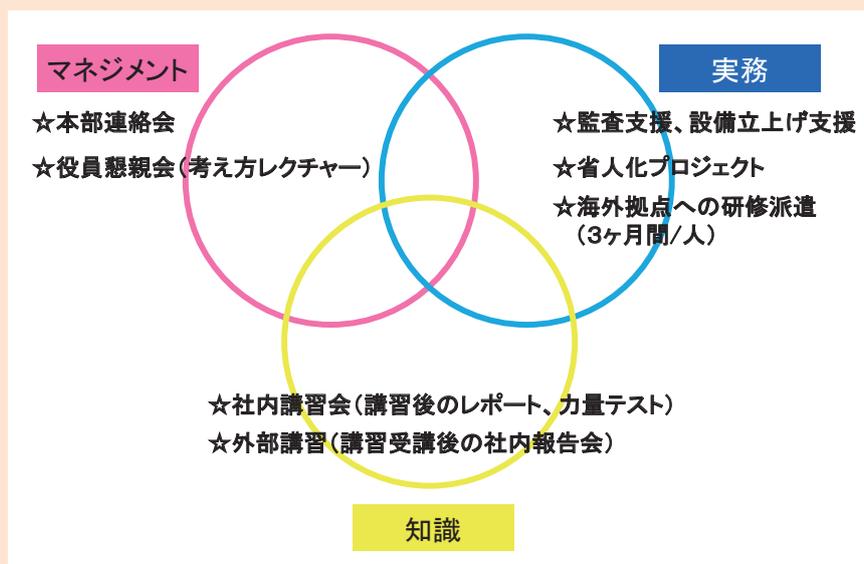
同社は、国内外での金属熱処理技術者の育成に加え、やる気のある人材の中から海外工場の管理職も任せられるようなグローバル人材として次世代を担うリーダーを育成することで、さらなる成長を目指している。

図1 タイ工場に隣接して設置されたトレーニングセンターとテスト受講風景



出所：(株) 東研サーモテック

図2 グローバル人材育成プログラム



出所：(株) 東研サーモテック

(注)

本資料は、掲載産業省ホームページに掲載の下記のものづくり白書のデータ中、第3章(P.78~P.80の「図2」まで)を抽出する形式で加工したものです。

経済産業省ホームページ2023年版ものづくり白書(ものづくり基盤技術振興基本法第8条に基づく年次報告)

<https://www.meti.go.jp/report/whitepaper/mono/2023/index.html>

2023年版ものづくり白書(全体版)(PDF形式:17,233KB)